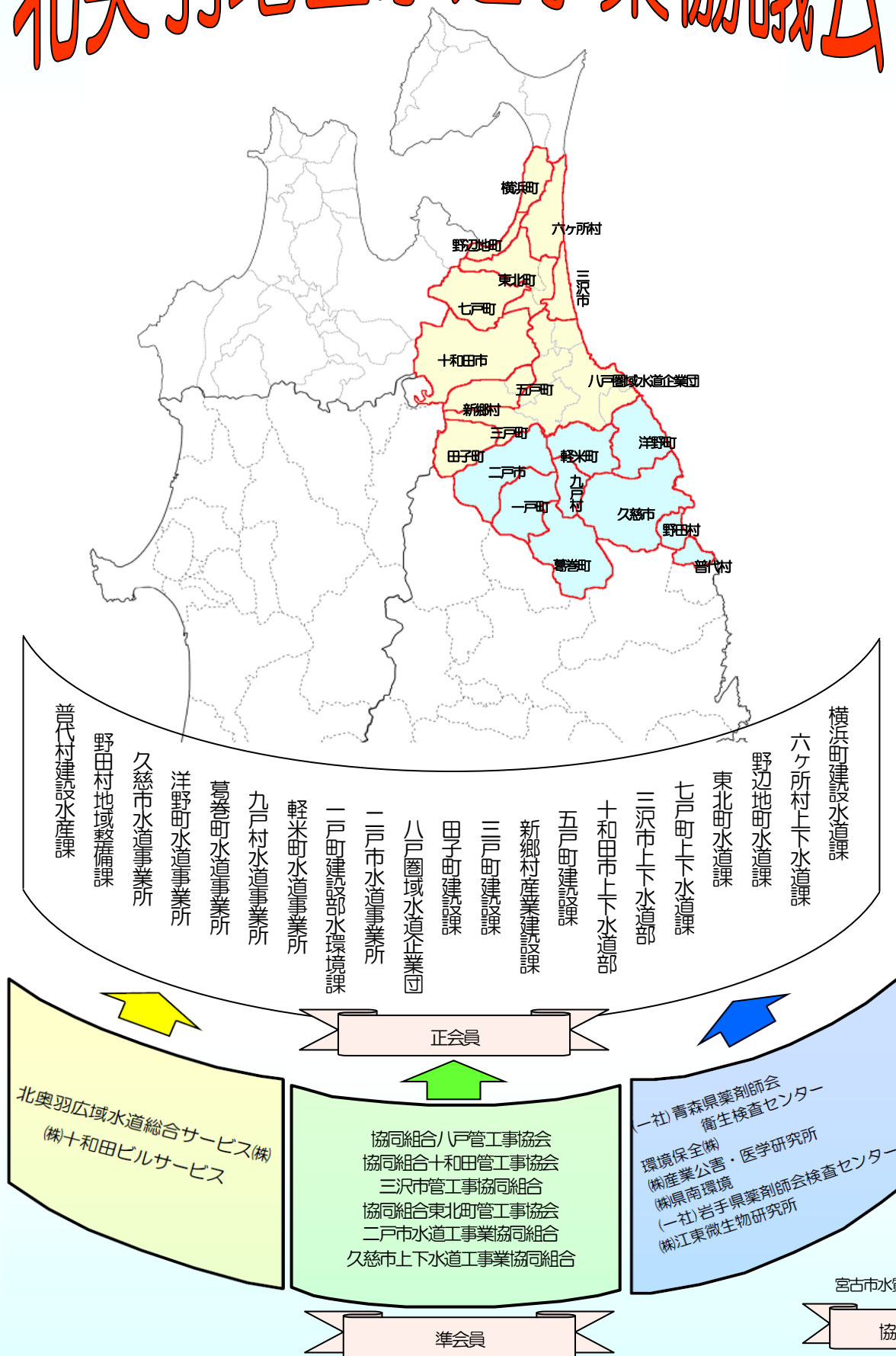


水道の安心と安全を守るネットワーク

北奥羽地区水道事業協議会



北奥羽地区水道事業協議会について

1. 背景と目的

水道は安全・安心な水を供給する責務をおっていますが、水道事業のおかれている現状は、少子化、過疎化による人口の減少や高齢化、節水機器の普及などにより給水収益が減少する一方で、頻発する地震に対する耐震化や高度成長期に建設した水道施設の更新需要に対する財源確保が課題となっています。

また、短周期での人事異動や団塊世代の大量退職などにより、水道事業に従事する職員の技術力や専門知識の不足といった大きな問題があり、さらには、水道水源を取り巻く水環境の保全などのグローバルな対策も必要となっています。

こうした課題に対応するには個々の水道事業体単独では限界があり、相互に情報を交換し、連携していくことが重要であると考えます。

幸いにもこの地域は、歴史的にも文化的にも、経済的にも深いつながりを持っており、県や市町村の行政枠を超えたボーダレスな水道事業体が連携する「水道の安全と安心を守るネットワーク」の形成に適しています。

このことから、北奥羽地区水道事業協議会は、青森県南、岩手県北各市町村の水道事業の総合的な発展と、合理的かつ効率的な運営を図ることを目的とし、22 の水道事業体により平成 20 年 1 月 9 日に設立されました。

広域的な被害をもたらした東日本大震災では、被災した会員等への緊急応援を行いました。災害時においては水道事業者だけで対応することも難しく、また、住民のための水道を将来も維持継続するには、水道事業をサポートしている民間事業者・団体の協力が不可欠であるため、趣旨に賛同した民間事業者・団体を対象とした準会員制度を平成 25 年 4 月に創設し、現在は併せて 36 の事業体・団体により活動を行っています。

2. 参加事業体・団体数（平成 26 年 4 月現在）

正会員	準会員	協力団体	合計
21	14	1	36

3. これまでの主な活動

	19 年度	20 年度	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度
役員会	第 1 回	第 2 回	第 3 回 第 4 回	第 5 回	第 6 回	第 7 回	第 8 回
総会		第 1 回	第 2 回	第 3 回	第 4 回	第 5 回	第 6 回
研修会・勉強会		P I 危機管理			第三者委託		
施設見学会・報告会			第 1 回	第 2 回	第 3 回	第 4 回	第 5 回
配管技能講習会					日水協主催		
実技配管講習会				給水装置			
水道技術研修会					減圧弁	減圧弁	減圧弁
その他	H20. 1. 9 協議会 設立					森田実時局 講演会	H25. 4. 24 準会員制度 創設

○ 上記の他、以下を実施している。

緊急連絡表作成、資材保管状況確認、緊急時の体制強化（連絡管）、応援要請時の協力

総会・役員会で意見を出す会員



第7回総会 (H26.4.22)



新たな水道広域化懇話会
(H26.5.30)



実技配管講習会
(H22.5.25)



研修会(減圧弁)
(H23.8.4)



第8回施設見学会(葛巻町)
(H24.9.7)

研修会・講習会等を通じて研鑽を深める



特別講演—講師：厚生労働省水道課
尾川氏 (H24.10.19)

4. 北奥羽地区水道事業協議会の概要（H23）

	団体名	給水人口 (人)	年間総配水量 (m ³)	有収率 %	職員数 (人)	上水道数 (箇所)	簡易水道数 (箇所)
八戸圏域	八戸圏域水道企業団	326,896	32,919,596	86.9	165	1	
	三戸町	1,183	52,049	99.9	4		5
	南部町	66	3,434	90.4			
	五戸町	4,034	327,205	92.2	4		5
	田子町	5,655	753,966	65.9	4	1	2
	新郷村	1,798	155,486	89.9	5		8
	圏域計	339,632	34,211,736		182	2	20
上北圏域	十和田市	64,183	7,110,137	88.3	23	1	7
	三沢市	39,518	5,137,000	79.0	22	1	
	東北町	18,361	2,500,375	77.7	7	1	1
	七戸町	16,049	2,242,000	72.4	5	1	
	野辺地町	13,934	2,055,000	69.2	5	1	
	六ヶ所村	10,970	1,979,000	79.1	5	1	
	横浜町	3,568	282,732	83.3	2		1
	圏域計	166,583	21,306,244		69	6	9
二戸圏域	二戸市	25,026	2,422,194	79.7	7	1	4
	一戸町	11,785	1,295,000	85.9	6	2	
	軽米町	7,001	838,132	72.6	7	1	2
	九戸村	5,929	688,000	72.7	4	1	
	葛巻町(馬淵流域)	6,622	1,237,976	48.2	6		7
	圏域計	56,363	6,481,302		30	5	13
久慈圏域	久慈市	35,138	4,275,008	79.1	17	1	5
	洋野町	13,986	1,430,848	77.2	10	1	5
	野田村	4,388	313,316	92.5	2		4
	普代村	2,950	318,062	78.2	3		8
	圏域計	56,462	6,337,234		32	2	22
総合計		619,040	68,336,516		313	15	64

※ 職員数および上水道・簡易水道数はH26. 4. 1 現在

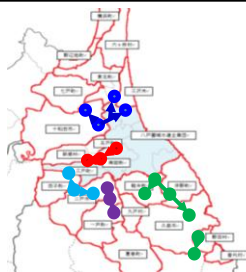
5. 今後の北奥羽地区水道事業協議会について ～新たな水道広域化～

施設の共同化や管理の一体化などの新たな広域化の概念による広域連携の方法について、北奥羽地区水道事業協議会の構成団体参画のもと「八戸圏域周辺地域における新たな広域的水道基本調査」を平成25年度に実施しました。

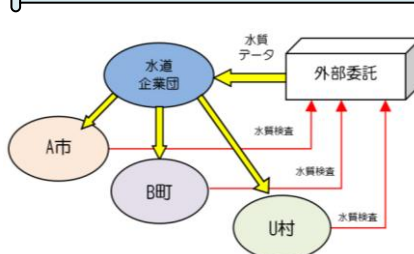
調査の結果、簡易水道などの小規模水道は、運転管理・維持管理面はもとより、施設整備費用確保など、経営基盤の強化が求められていることが分かりました。

このような背景のもと協議会では、次の4つを基本的な視点とした将来を見据えた戦略的な新たな広域連携について検討を行ない、推進していくこととしました。

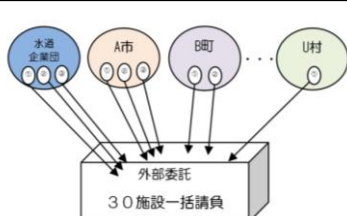
施設の共同化



水質データ管理の共同化



施設管理の共同化



システムの共同化

